

終に叶はずして佛になりなき。初成道の能斷佛種子も雙林最後の一切江河必有回曲の文も破れぬ。銀色女經竝に大論の龜鏡も空しくなりぬ。又智積・舍利弗は舌を卷き口を閉ぢ、人天大會は歡喜のあまりに掌を合せたりき。是偏に妙の一字の徳也。此南閻浮提の内に二千五百の河あり。一一に皆まがれり。南閻浮提の女人心のまがれるが如し。但し娑婆耶と申河あり。繩を引はえ(延)たるが如くして直に西海に入る。法華經を信ずる女人も亦復如是、直に西方淨土へ入るべし。是妙の一字の徳也。妙者蘇生の義也。蘇生と申はよみがへる義也。譬は黃鶻の子死せるに、鶴母子安となげば死せる子還て活り、鳩鳥水に入ば魚蚌悉死す、犀角これにふるれば死せる者皆よみがへるが如く、爾前の經經にて佛種をいりて死せる二乘闍提女人等、妙の一字を持ぬればいれる佛種も還て生ずるが如し。天台云、闍提有心猶可作佛、二乘滅智心不可生、法華能治復稱爲妙云云。妙樂云、但名大不名妙者、一有心易治無心難治、難治能治所以稱妙等云云。此等の文の心は大方廣佛華嚴經・大集經・大般若經・大涅槃經等は題目に大の字のみありて妙の字なし。但生者を治して死せる者をは治せず。法華經は死せる者をも治す。故に妙と云ふ釋也。されば諸經にしては佛になるべき者

も佛にならず。法華は佛になりがたき者すら尙佛になりぬ。佛になりやすき者は云、
にや及ぶと云道理立ぬれば、法華經をとかれて後は諸經にをもむく人一人もあるべ
からず。而に正像二千年すぎて末法に入て當世の衆生の成佛往生のとげがたき事は、
在世の二乘闡提等にも百千萬億倍すぎたる衆生の、觀經等の四十餘年の經々に値て
生死をはなれんと思はいか。はかなしはかなし。女人は在世正像末總じて一切の
諸佛の一切經の中に法華經をはなれて佛になるべからざる事を、靈山の聽衆として
道場開悟し給へる天台智者大師定て云、他經但記男不記女、今經皆記等云云。釋迦
如來多寶佛十方諸佛の御前にして、摩竭提國王舍城の良、靈鷲山と申所にて、八箇年
の間説給し法華經を智者大師まのあたり聞しめしけるに、我五十年の一代聖教を説
をく事は皆衆生利益のためなり。但し其中に四十二年の經々には女人佛になるべか
らずと説き、今法華經にして女人成佛をとくとなのらせ給しを、佛滅後一千五百餘年
に當て靈鷲山より東北十萬八千里の山海をへだて、摩訶尸那と申國あり。震旦國是
也。此國に佛の御使として出世し給ひ、天台智者大師となのりて女人は法華經をは
なれて佛になるべからずと定させ給ぬ。尸那國より三千里をへだて、東方に國あり、